

佳作

喜びと安心を与える建築士になりたい

新潟県立直江津中等教育学校

2年 土田 純夏

私は小学生の頃から木材を使って椅子やスプーン、おもちゃを作るのがとても好きだった。母もDIYが趣味で、古くなった靴棚を修繕したり、押し入れを勉強机に改造したりしていた。私はそんな母をすごいと思い、自分もしてみたいと思っていた。

中学生になった今、私の将来の夢は建築士になることだ。その理由は、自分が設計した家で暮らす家族の喜ぶ顔が見たいからだ。また、現代では地球温暖化による気候変動が原因で自然災害が多発している。このような危機的な自然現象に対応した建物を設計したいと考えているからだ。そして、古き良きものを生かしたりリノベーションにも興味がある。

最近の社会の問題について考えてみた。

一つ目は、水害によって建物が浸水することである。地球温暖化による大雨や台風の影響で河川が氾濫し、床上浸水になったり、家屋が流されたりしている。家の浸水を防ぐためには家の周りに防壁を設置することが必要だと考える。また、水位が上がったときに家ごと浮くような設備を導入し、被害を減らしたいと考える。

二つ目は、地震により建物が崩壊し、家や家族をなくした人がたくさんいるということである。助かった人も住む所を失い、不安でつらい思いをしている。今後も地震が起こる可能性が高いため、耐震性の高い構造で、丈夫な建材を使うなどの工夫が必要と考える。

三つ目は、空き家や老朽化した家屋が増えていることである。これらの建物は、台風や地震によって、屋根や建材が飛ばされ、近隣住民に迷惑をかけていることが問題である。また、景観上、衛生上の問題ももたらしているのだ。そこで、老朽化した家の中にある昔ながらの良さを生かして、古民家として再生させ、新しい価値を生み出すことも大切だ。

私は、夏休みに鎌倉へ旅行に行った。きれいな街並みを見て、落ち着いた雰囲気にとっても癒された。一つ一つの建物が個性的で、レトロな感じがした。その一つとして、パン屋さんに入ったら古民家をリノベーションした大きな柱や梁があり、長い歴史が感じられる魅力のあるお店だった。私はとても気に入った。よくテレビ番組でリノベーションした家やお店を見ているので興味があった。このように古き良きものはそのまま残しつつ、快適に過ごせる空間を新た

に生み出すことはすてきだと思った。自分も古民家を活用したりリノベーションをぜひやってみたいと思った。

私は総合の学習で幼稚園で職場体験をした。2日間子どもたちと楽しく過ごした。一緒に遊ぶ中で、遊びに没頭する姿や友達と仲良く笑う姿が見られ、私も元気をもらった。

家づくりでも、子どもが喜び、笑顔が広がるような工夫をしたい。子どもの多い家庭、お年寄りのいる家庭、犬や猫などのペットを飼っている家庭など、依頼主によって家族構成は異なる。それぞれの家族の人数や年齢、趣味などに応じて、みんなが満足できるような提案をしたり、相手の要望にもうまく応えたりしたい。そして、その家族の夢や理想を形にし、豊かな暮らしを届けたい。そこに家族の喜ぶ顔をきっと見ることができたらいい。

また、地震や洪水などの自然災害に対応した強固な家づくりを研究して、人々の被害を減らしたいと考える。

私の将来の夢に近づくためには、国家資格が必要である。だから、建築学科のある大学に進学したいと考えている。そのために、学習面で先を読んで計画的に進めることが苦手という自分の弱点を克服し、効率よく計画的に粘り強く勉強に励んでいきたい。また、日本だけでなく、海外の建築にも興味があるので、いろいろな国を訪れて視野を広げたい。そのために英語力を高めたい。夢の実現のために今からしっかり土台づくりを頑張りたい。